



伊藤颯姫研究員が 第11回 成人発達障害支援学会 大阪大会にて 優秀医学賞を受賞しました！

受賞演題：「自閉スペクトラム症と統合失調症における 労働に関連する要因の検討」

研究概要：自閉スペクトラム症（ASD）と統合失調症（SZ）は社会機能障害の類似性が指摘されています。社会機能の中でも特に、労働は自己効力感や生活の質、経済的自立において重要な役割を果たします。本研究では、ASDとSZの患者さんを対象に、労働時間と社会機能・知的能力との関連を検討しました。結果、ASDでは趣味などの娯楽活動が労働時間と中程度の正の相関を示し、娯楽が就労のモチベーションや社会関係の構築に関係する可能性が示唆されました。一方、SZでは、社会機能全般、特に自立実行が労働時間と有意な関連があり、認知機能も労働に関連することが分かりました。ASDとSZでは労働に関連する要因が異なり、それぞれの疾患特性に応じた支援の必要性が示されました。

第11回成人発達障害支援学会
大阪大会 優秀医学賞

伊藤 颯姫 殿

演題名：
自閉スペクトラム症と統合失調症に
おける労働に関連する要因の検討

貴殿の口演発表は、審査の結果特に優
秀であり、成人発達障害支援に寄与す
るところが大であると認められます
よって優秀医学賞を贈り、これを表彰
します

令和6年9月7日・8日

第11回成人発達障害支援学会大阪大会
大会長 安田 由華